

当館をささえる

ものづくりサポーター自作展示物 館内に8つ

当館には、ものづくりサポーターのみなさん自作の展示物が8つあります。

ものづくりサポーターとは、豊田市ものづくりサポーターに登録し、子どもたちのものづくり活動を支えている人たちです。小学校で、ものづくり教育をしたり、交流館で、出前科学教室をしたりする他、当館の展示物を作製、展示、修理、解説をしています。

一番人気は、木のボールがすべり台を下り、木きんやカスタネットを通過するときに楽しい音が出る「かベコロ装置」です。他に「うきうきすいぞくかん」など。近日中に、新しい展示物も登場します。お楽しみに！



↑かベコロ装置



↑うきうきすいぞくかん
 ものづくりサポーターのみなさん♪



→ スローコロップ



← コロコロランプ



↑ラトルバック



↑マジックミラー



↓じぶんとあくしゅ

うわぁ～！きれい！
にじの見える万華鏡

小学生21人参加



9月18日、サイエンス★ランド②「虹を作ろう！光の万華鏡」が開催されました。科学好き、工作好きの小学生21人が参加しました。

サイエンス★ランドとは、市内小中学校の教員グループ『自主研グループ(理科)』のみなさんが講師となり、参加者は、マンツーマンに近い形で取り組めるワークショップです。今回は、シートをかざして電球を見ると7色に見える分光シートを使った万華鏡を作りました。

最初、分光シートのしくみの説明を聞き、万華鏡作りに取りかかりました。トイレペーパーの芯を筒にして、外側の飾りつけをしたり、中に入れる黒い画用紙を切ったり切り込みを入れたりしました。完成して、筒をのぞきこむと歓声があがりました。

「にじが身近なところで見れるものを作れて、楽しかった」という感想がありました。



星空を見上げて
皆既月食

12月10日

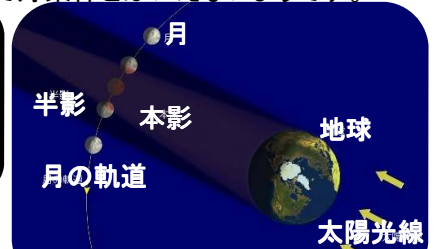
12月10日の夜更けから翌11日の未明にかけ、全国で、素晴らしい皆既月食が楽しめます。10日が土曜日というのも好条件ですし、世界的にみても日本付近が最も好条件で見ることができ、次の皆既月食でこれほどの好条件のものは2014年10月8日までお目にかかれませぬ。お天気に期待しましょう。

月食とは、満月が地球の影に入りこんで欠けてみえるものです。できれば夜空の暗く澄んだ場所で見たいところですが、冬の夜空は透明度が高いので市街地でも十分にその幻想的な光景が楽しめると思われます。肉眼だけでも良くみえる現象ですが、双眼鏡があると赤銅色に変身した月面の様子をよりはっきりと見ることができます。また、カメラで皆既中の月も意外に上手く写すことができるのでおすすめです。万全の観測準備を整えて楽しみましょう。

その他の天文現象は、11月17日～19日に「しし座流星群」、12月14日～15日に「ふたご流星群」があります。こちらは、月の光が明るいので好条件とはいえにくいようです。



【月食の様子】



くわしくはホームページをご覧ください。

URL <http://www.toyota-kagakutaikenkan.jp>

管理・運営：公益財団法人 豊田市文化振興財団

とよた科学体験館 (産業文化センター内)
 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町1-25
 TEL (0565)37-3007/FAX (0565)37-3012